

# 坂本かずゆき 甲斐市議会活動報告

Vol.5 2015.3.15  
討議資料

◆◆◆坂本かずゆき後援会 一翔会（いっしょうかい） 翔く山梨へ ◆◆◆

坂本かずゆき 後援会

〒400-0112 甲斐市名取 369-1

TEL&FAX：055-276-0040

URL：http://www.e-kazuyuki.com/

E-mail：info@e-kazuyuki.com

平成26年12月 甲斐市議会 一般質問（32回目）～



## Q 人口減の中、目標人口を75,000人に 想定すべきでは

企画政策部長 → 地方版総合戦略の中で、目標値として想定を検討

**坂本** 平成26年8月末の人口は7万4,913人と合併以来最高の人口となり、7万5,000人も手の届くところまでになったが、その増加の要因は何と考えるか。

**市長** 竜王駅、塩崎駅、幹線道路、保育園の整備、またガーデンシティを目指す公園整備や緑化の推進など生活環境の充実、また創甲斐教育の推進など、これまで取り組んできた施策が評価されたと考える。

## Q 「近居」というモデルを導入して、 転居費用の一部を助成しては

市長 → 少子化対策を中心に、創甲斐教育を推進

**坂本** 近居とは、子育て世代と祖父母世帯が近くに住み、助け合うことを言い、子育て世代側からは育児に対する不安がなくなり、仕事との両立ができるのがメリットであり、祖父母世帯は、孫の成長を身近で見られ、高齢になった時の安心感があるというメリットがあるので、この近居を後押しする転居費用の一部助成制度などを導入しては。

**企画政策部長** 近居という制度は、団塊世代が75歳以上になる2025年問題というのを考えると、高齢者の単独世帯とか、在宅介護の推進という方向で、今後の高齢化社会の中である意味推進すべき施策とも考えられるので、来年度以降の戦略の中で検討する。



2040年の消滅可能性都市を収録した本  
増田寛也編著「地方消滅」中公新書



### 住みやすさナンバーワン？

先日の新聞に、山梨県が「住みやすい県ナンバーワン」に選ばれたことが掲載されていました。本当に誇らしい限りです。暮らしやすいばかりでなく、「働きやすい県」でも上位に入ることが、本当の「住みやすさナンバーワン」になると考えます。そのためには、「雇用政策」が、その重大なポイントになるに違いありません。坂本かずゆきは、「オンリーワンの山梨」「翔たく山梨」をめざしてがんばって行きたいと考えています。

## 御礼申しあげます

「議員になりたのではなく、議員という仕事がしたい」という信念のもと、甲斐市議会議員を約9年間に渡り、務めさせていただきました。皆さまのご支援に対しまして、心から御礼申しあげます。ありがとうございました。

「市民の声を届けるばかりでなく、実践することが議員の仕事」だと、これからも精進してがんばって行きたいと考えております。どうぞ、今後とも、一層のご支援を賜りますようお願い申しあげます。

## 坂本かずゆきプロフィール（51才）

前甲斐市議会議員（3期）  
前市議会会派 颯新（さっしん）クラブ所属  
建設経済常任委員（歴任）  
議会運営委員会委員長（歴任）  
総務教育常任委員会副委員長（歴任）  
竜王土地改良理事  
甲斐市スポーツ少年団副本部長  
甲斐市スポーツ少年団野球部会会長  
甲斐市消防団竜王第一分団第三部団員  
元竜王東小・竜王中学校PTA会長